

Clostridium difficile 感染症

Clostridium difficile は、抗菌薬関連性腸炎や偽膜性腸炎の原因菌として知られています。また、近年は医療関連施設感染の原因菌としても注目されており、病院や高齢者施設などにおける感染防止対策が重要視されています。

本菌の産生する毒素として、従来 A 毒素(toxin A) と B 毒素(toxin B) が知られていましたが、近年、第三の毒素として、*C. difficile* 二元毒素(*C. difficile* binary toxin)が見つかり、新たな病原因子として注目されています。この二元毒素を産生するとともに、高い A 毒素、B 毒素産生能を有する、027 型(PCR ribotype 027)という毒性の強い株の検出が、米国・カナダ・欧州(英国など)・オーストラリアで増えており、集団発生の原因ともなっています。

今回の企画では、*C. difficile* の細菌学的特徴と、*C. difficile* 感染症の診断、治療、感染防止対策に焦点を当てて、各領域の専門家の先生方に解説していただくと思います。

(岩田 敏)